

社会変革の連携拠点

京大、国内外へ成果発信

京都大学大学院総合生存学館は1日、持続可能な開発目標（SDGs）などの地球規模課題や社会課題で企業や国際機関との連携を促進する「ソーシヤルイノベーションセンター」を設置したと発表

な企業が大学との連携を探る拠点とする。同センターには、知の交流プログラム「ユネスコチエア」と連動する生存基盤分野「水・エネルギー・防災」と地球規模の情報システムと経済ネットワークを考える「ブロックチェーン」、宇宙での資源開発と地球環境改善への応用を図る「有人宇宙学」、社会的な孤立を防ぎ心の健康を向上させる「ウエルビーイング」の4領域を設置。今後も社会変革につながるテーマを追加していく。企業規模に応じたさまざまな連携の形を取れるよう構想する。総合生存学館の宝馨学館長は「革新により社会貢献したい企業の窓口にしたい」と述べた。